

## 映画「見えないから見えたもの ― 拝啓竹内昌彦先生 ―」感想

備前市立伊里中学校1年生

- 目が見えなくても普通の人とだいたい同じように生活できるところがすごいと思った。動物園のシーンで「わがママを言うとああなる」とひどいことを言われても、心の中で「病気でなったんだ。」と冷静な態度でいたことはすごいなと思った。
- すごく深い親子愛、家族愛が描かれている映画だと思った。私はこれからも、今生きていることに誇りを持って生きていきたい。
- 一人の人生の中で様々な苦勞と経験があって、すごいとしか言いようが無い。目が不自由で幼い頃にいじめられて、その後に友達と打ち解けられたこと。パラリンピックで金メダルをとったこと。東京の大学に合格して念願の教師になったこと。結婚して子供が生まれたけど病気だったこと。映画におさめられただけでも、相当な経験をした人なんだと驚いてしまう。これから私は、目の見えない人のための物を大切に扱えるようにしたいと思った。
- 目が見えなくなったというのはつらいことだと思いました。生まれつき片目が見えなかったけど、栄養不足で両目が見えなくなったのは、とてもつらいし怖いだろうなと思いました。目の不自由な人でも目が見える人と同じように頑張ることができることはすごいと思う。目が不自由でも教師になろうと決心したことはとても勇気があることだと思いました。